

薩摩硫黄島

概 況

噴火が時々発生し、集落で降灰を確認しました。また、火山性連続微動が時々発生するなど、火山活動は、やや活発な状態となりました。

噴煙活動の状況

噴煙は白色・中量で、噴煙高度の最高は6日の800m(3月:700m)でした(図2、図3)。三島村役場硫黄島出張所によると、15日、18日、19日、29日、30日に集落で降灰が確認されています。

地震・微動活動の状況

A型地震の回数は、1日あたり0～4回で月回数は29回(3月:15回)、B型地震の回数は1日あたり0～25回で月回数は170回(3月:95回)でした(図2、図3)。火山性連続微動が2～7日及び9～10日に発生しました。また、継続時間の短い火山性微動は14日及び24日にそれぞれ1回発生し、月回数は2回(3月:74回)でした(図2～4)。

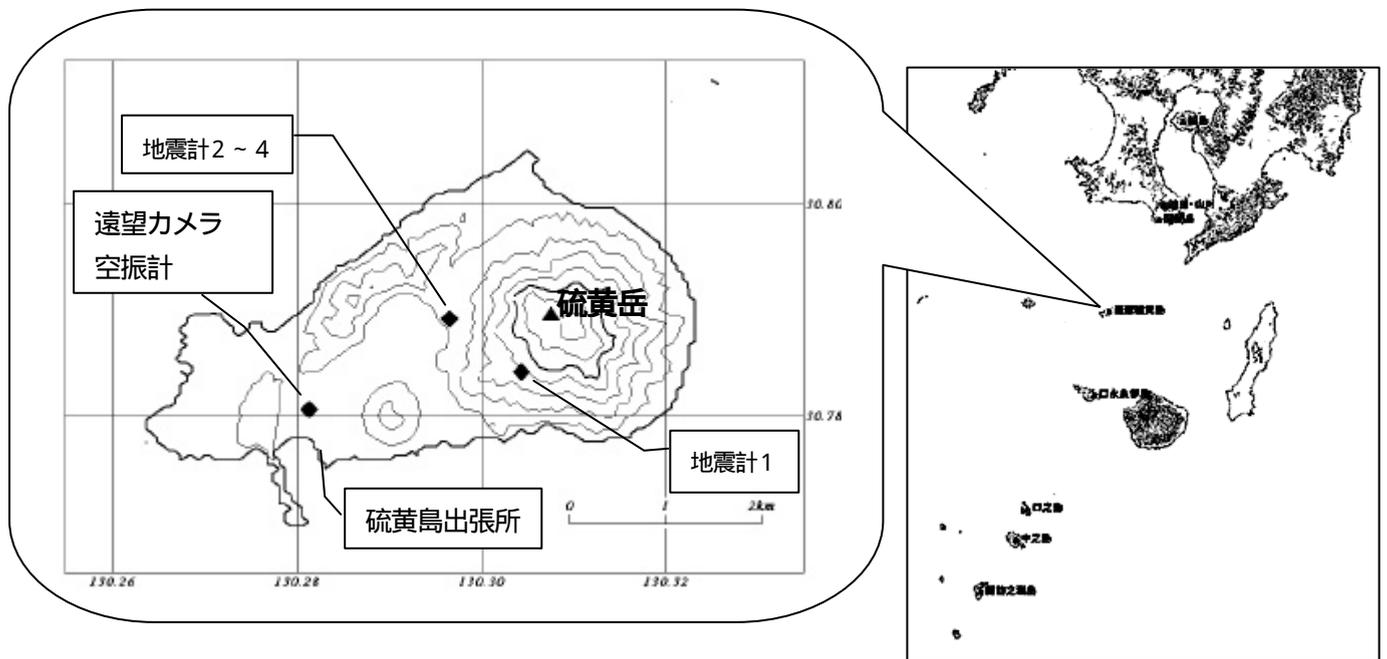


図1 観測点位置図

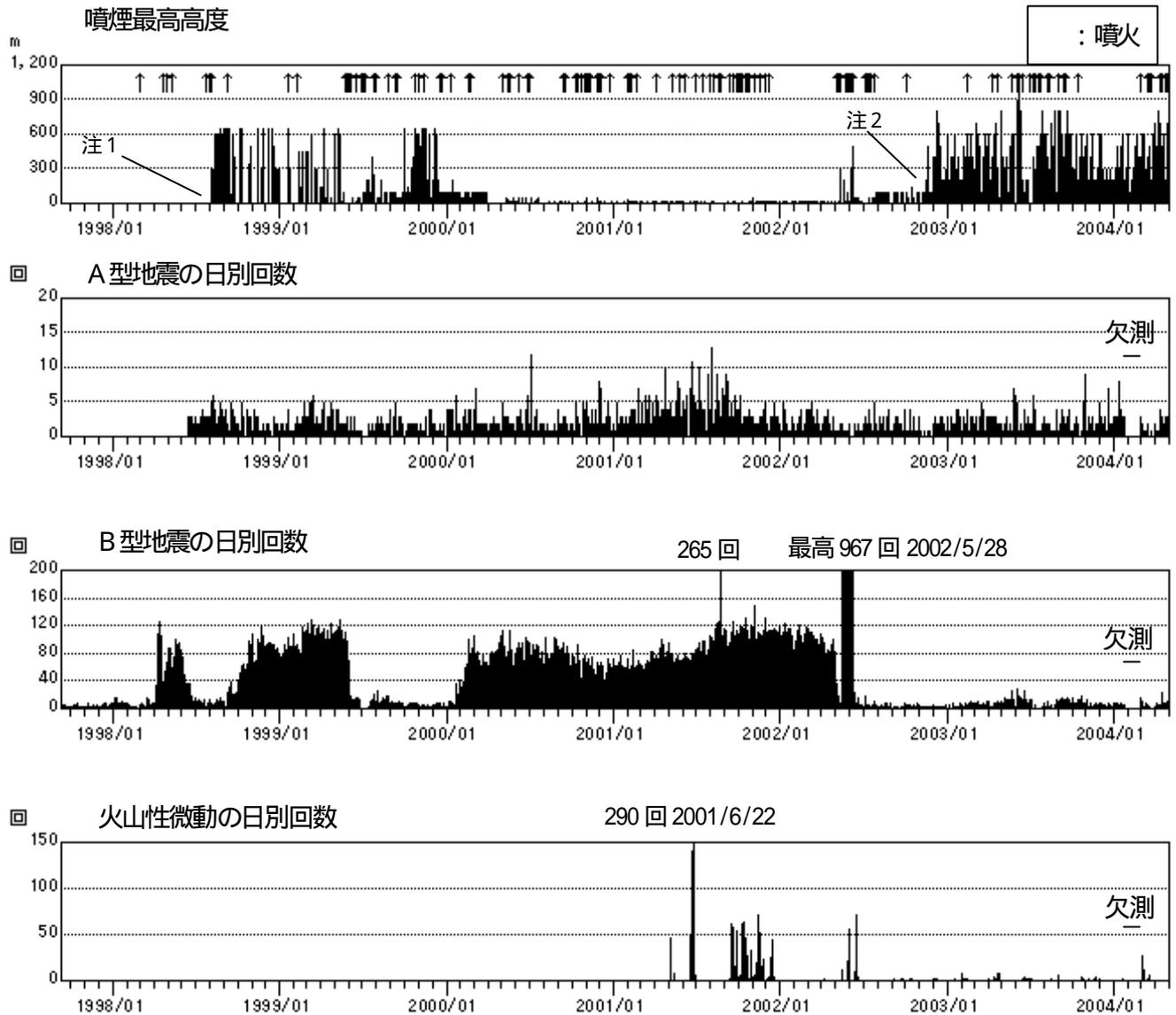


図2 火山活動経過図(1997年9月10日~2004年4月30日)

注1 1998年8月1日 三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始

注2 2002年11月16日 気象庁が設置した監視カメラによる観測開始

(1月25日00時44分から2月26日17時00分まで雷災により震動観測データ欠測)

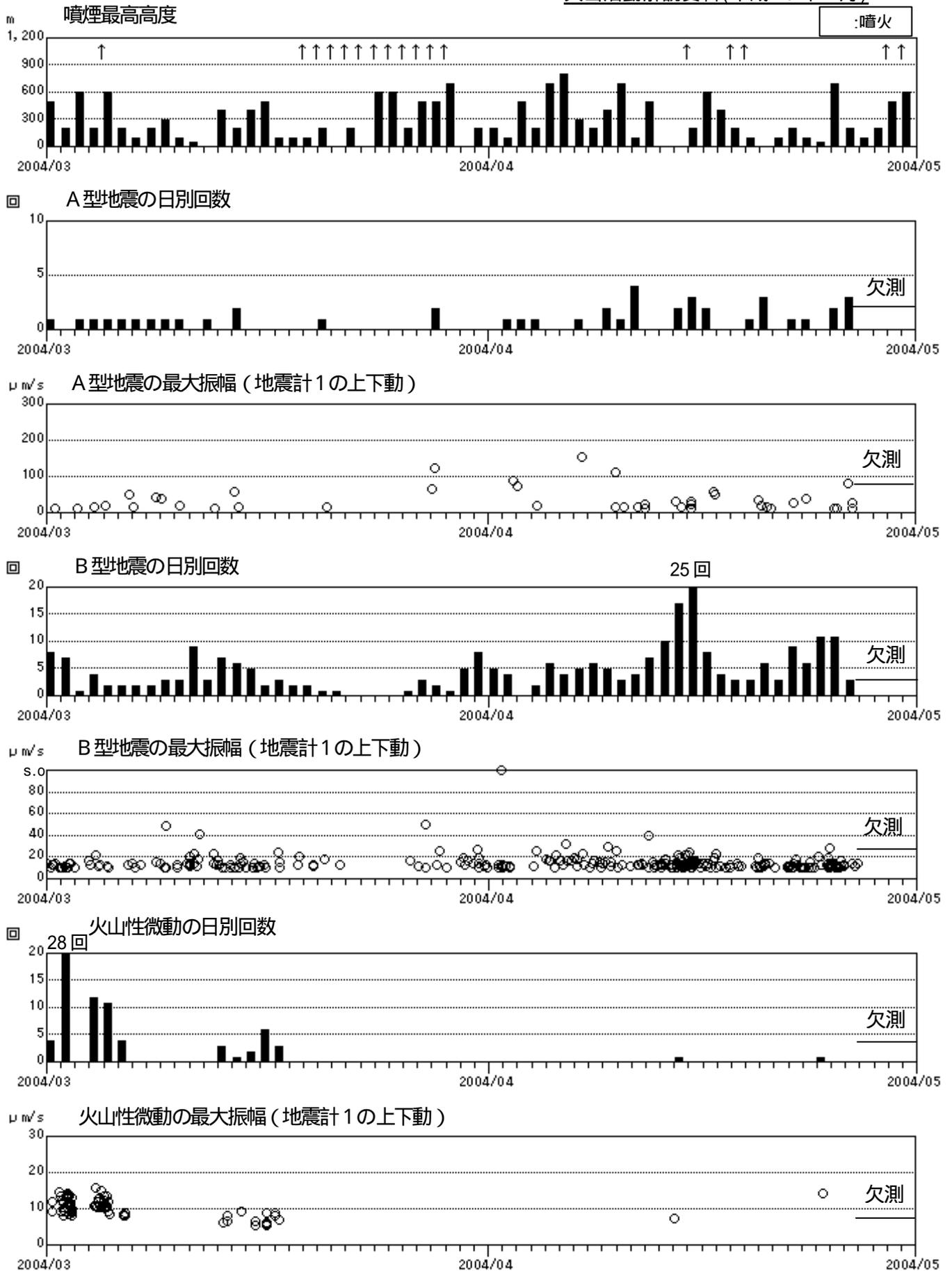


図3 薩摩硫黄島火山活動経過図(2004年3月1日~4月30日)
(4月27日03時12分から雷災により震動観測データ欠測)

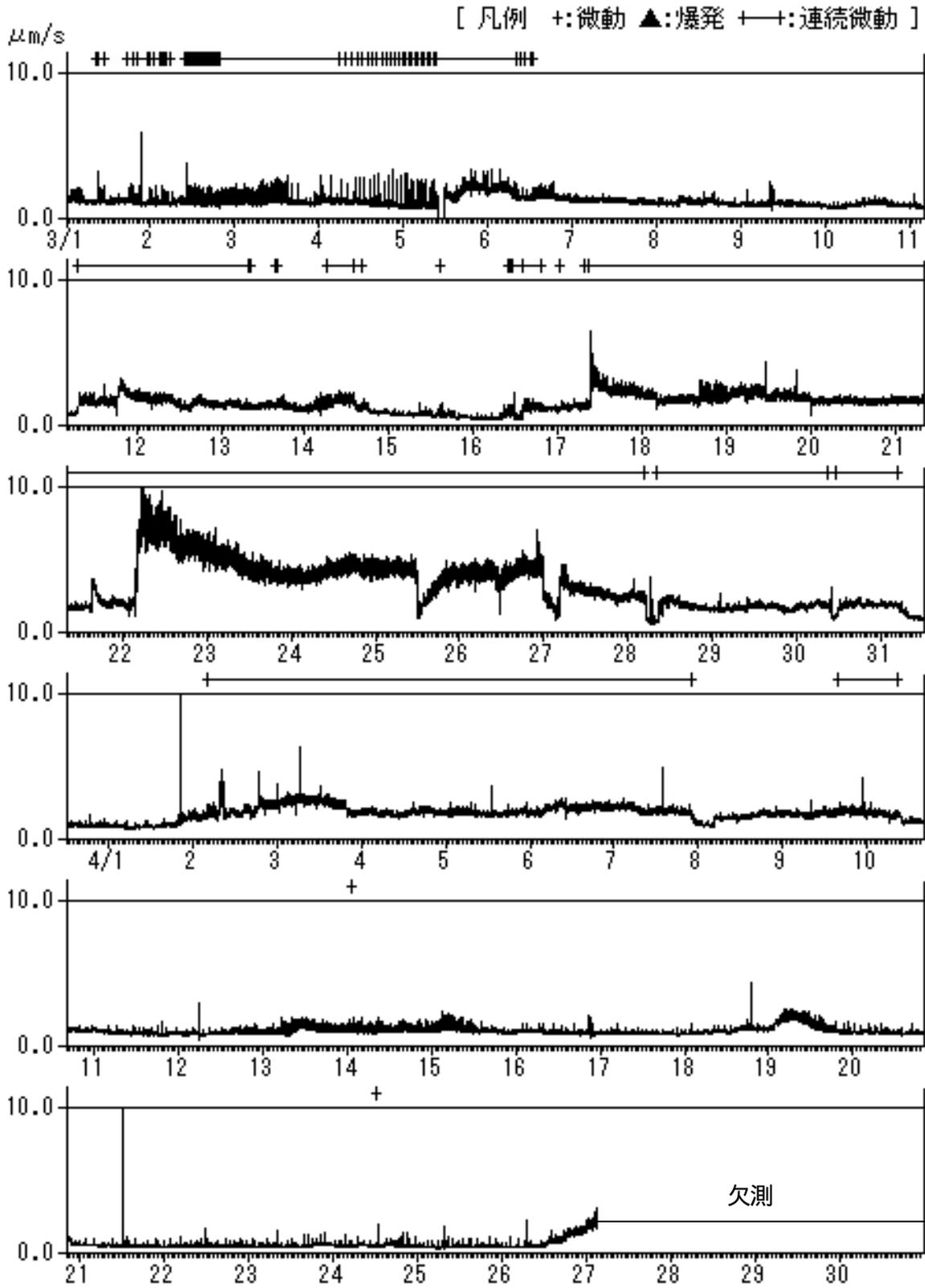


図4 1分間平均振幅の時間変化(地震計1上下動)(2004年3月1日~4月30日)
(4月27日03時12分から雷災により震動観測データ欠測)